

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム たのしい家 小倉北作成日: 平成 31 年 3 月 4 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	行政、包括支援センター職員を始め、複数の家族や地域住民、地域代表等の参加を得ているが、幅広く参加の声掛けを行い、内容を工夫して、ホームの事だけでなく、地域貢献にも繋がる会議運営を目指していく。	参加委員として、複数の民生委員、市民センター館長、幼稚園、保育園の園長、薬剤師、歯科衛生士等、幅広く参加を要請し、ミニ勉強会や行事への参加、試食会、避難訓練の見学等、内容を工夫しながら充実した会議を目指していく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	運営推進会議の委員から情報を得て、地域の行事や活動に参加する機会が少しずつ増えているが、外部の人がホームに訪れる機会が少ないため、ホームの行事や活動に地域の方を招待し、地域に開かれたホームを目指していく。	小、中学校の職場体験やボランティアの受け入れや、幼稚園、保育園児との交流を積極的に行う等、利用者の喜びとメリハリのある暮らしに繋がる地域交流に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。